

MERS

MERS

Mild Encephalitis/encephalopathy
with a Reversible Splenial lesion

可逆性の脳梁膨大部に伴う軽度の脳炎/脳症

9歳 女性 インフルエンザ脳症

12月17日

【同伴者】 母

【主訴】 発熱 咳頭痛 咽頭痛 嘔吐

【現病歴】

12月15日 昼から41.7度 咳 鼻汁 咽頭痛 嘔吐

12月16日 発熱持続、飲んでも吐くので飲ませていない。

【既往歴】

アセトン血性嘔吐症・脱水症

血糖57 尿ケトン体3+ インフルエンザA +

入院2日後 意識障害 つつじまがあわず、指示が通らない

アセトン血性嘔吐症（周期性嘔吐症）

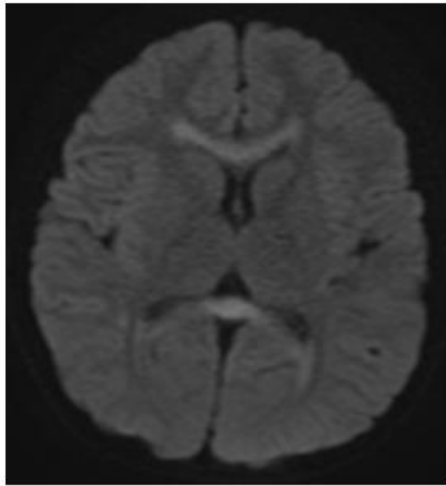
激しい嘔吐を繰り返す小児の病気で、周期性嘔吐や自家中毒

アセトンは脂肪を分解してエネルギーとして使った際にできる物質。

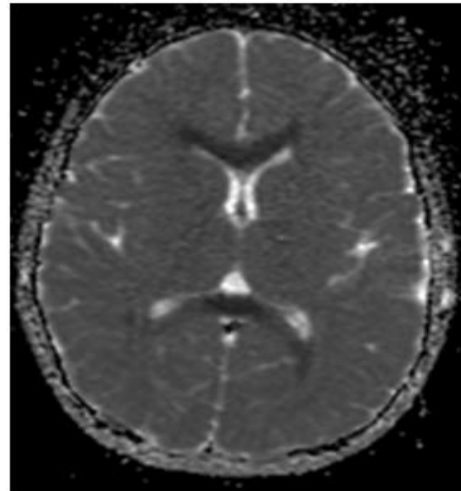
アセトンが過剰に増えることで嘔吐の症状

2歳から10歳にしばしばみられ、思春期になると多くは自然治癒。

点滴。夕食を摂らないと、発症しやすい、必ず摂ることが予防。

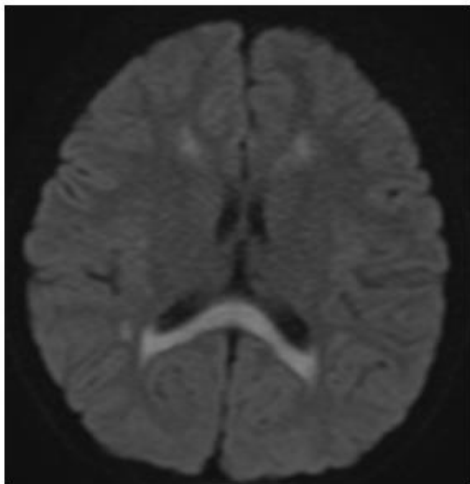


A

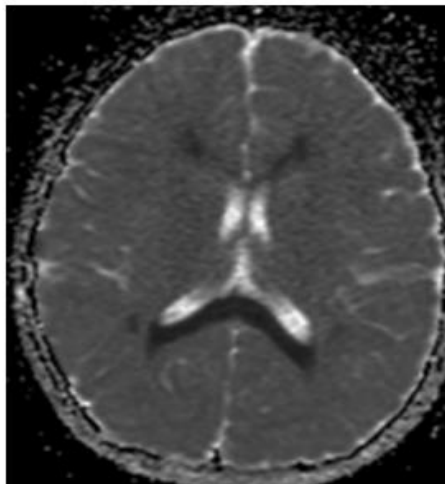


A'

Diffusion WIで脳梁膨大部と膝部の高信号を認める。
ADCでは低下しその値は0.347



B

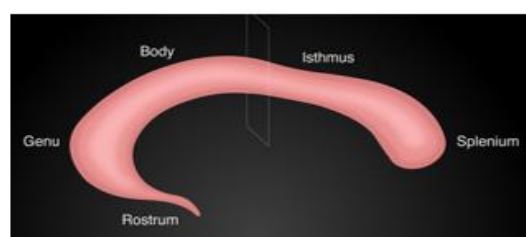


B'

Diffusion WIで脳梁膨大部で高信号、ADCで同部の低下が認められる。

脳梁

- 左右の大腦半球を連結する通路
- 脳内で最大の白質密度
- 軸索2億本が走向



脳梁の機能

- 左右大脳半球の情報交換と機能調整
- 認知機能

高齢者の脳梁の電気信号の低下 = 認知低下

典型子供の脳梁の厚み . . . 経時的に厚みを増す
脳梁の厚み . . . 知能、物事を進める速さ
問題解決能力と相関

MERS: mild encephalitis/ encephalopathy with a reversible splenial

- 可逆性の脳梁膨大部 病変を伴う軽症脳炎脳症
- 病因：多種多様

感染性：インフルエンザウイルス、ロタウイルス、アデノウイルス、帯状
疱疹ウイルス、ヒトヘルペスウイルス-6、サルモネラ菌、O157
大腸菌による溶血性尿毒症性症候群

薬剤性：化学療法薬1クール目直後 抗痙攣薬減量後

鈴木重將他 【症例報告】 MRI 拡散強調画像にて脳梁膨大部に可逆性高信号域 を認めた成人3症例の
検証 Journal of Japan Society of Neurological Emergencies & Critical Care (2018) Vol. 30 No. 2 : 62-66

MERS: mild encephalitis/ encephalopathy with a reversible splenial

- 症状
発熱、せん妄、頭痛、痙攣や意識障害
- 経過
ほとんどが1ヶ月以内に症状が消失

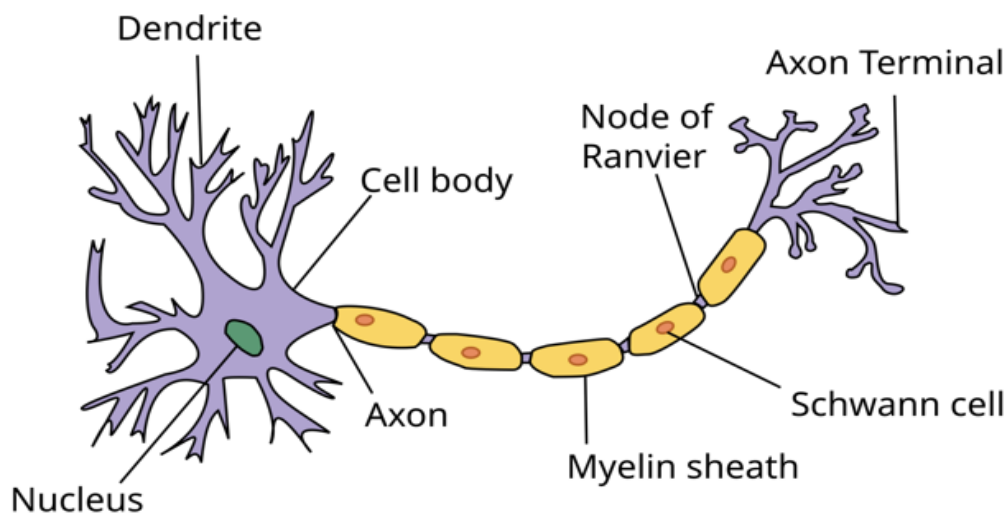
MERS: mild encephalitis/ encephalopathy with a reversible splenialの画像

- Diffusion WIにて脳梁膨大部の高信号
- ADC値は 同部で低下 (本例では0.347)
- 一過性病変であるにも関わらず、急性期脳 梗塞など細胞障害性変化を来す疾患と同様に病変部の ADC 値は低下

MERS: mild encephalitis/ encephalopathy with a reversible splenial

- 発症機序
ADC map では一過性病変であるにも関わらず、急性期脳 梗塞など細胞障害性変化を来す疾患と同様に病変部の ADC 値は低下

軸索の表面を覆うミエリン 鞘の分離によって生じる軸索内浮腫が最も考えられている。



何らかの原因でmyelin に損傷が生じ、軸索が膨化し細胞浮腫の状況になり軸索内の水分分子の拡散障害が生じ、ADCが低下